

七条中学校だより第1号



京都市立七条中学校

令和4年4月6日

発行:校長 高橋佳久

進級・入学おめでとうございます

暖かい春の日差しに、心がウキウキする季節になりました。七条中学校新2年生、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。小学校から中学校に入学する新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

さて、新学期を迎えるにあたり、みなさんに二つのことをお話しします。

まず、最初は「グリット(Grit)」というものです。グリットは途中であきらめず、最後までやり抜く力と言われています。ニューヨークの中学校で数学を教えていた先生が、IQ(知能指数)の高い生徒が必ずしも成績が良いわけではないことに気づきます。次に陸軍士官学校で入学時に成績の良い人が卒業できるわけではないことを発見し、生まれもっての力ではないものが、人の成功に結び付いていることを見つけます。それが「Grit(やり抜く力)」です。

今年度はスポーツや勉強など、がんばったり、努力したり、一所懸命に取り組むことに加えて、やり抜くことを心がけてみてください。

もう一つは、将来、学び続ける習慣をつけることです。小学校で6年間、中学校で3年間、義務教育は9年間です。さらに高校に行けばもう3年間、大学で4年間、学校で勉強をします。でも、本当に勉強が大切になるのは社会人になってからです。社会の変化はみんなの想像をはるかに超えたスピードで進んでいきます。そのスピードについていくために、学ぶ習慣をつけてください。方法は簡単です。家で宿題とは別に家庭学習をすることです。小学校1年生で10分、2年生で20分と増やしていき、中学校1年生は70分、2年生は80分、3年生は90分、家で興味のあることに取り組んでください。この家庭学習の習慣が、将来、学び続ける習慣になります。(時間は教科の宿題や受験勉強も含みます)



学校教育目標

コ・クリエイティブ

「自主・自律・共創」

～社会や人とのつながりの中で、自らを律し主体的に学び、
共に未来を創造する生徒の育成～

小中一貫教育 「子どもの本気」

- ① 私たちは、自らみんなにあいさつをし、気持ちのいい行動をします。
- ② 私たちは、思いやりのある行動をし、相手を大切にします。
- ③ 私たちは、どんな困難も受け入れて、その困難を乗り越えます。



小中一貫教育 「大人の本気」

- ① 大人がすすんで挨拶を交わし、人のつながりを大切にします。
- ② 大人がルールやマナーを守り、正しい行動をとります。
- ③ 大人が目の前の子どもたちを徹底的に大切にします。

新着任の教職員

よろしくお願ひします	
校長	高橋 佳久
社会科	藤浪 美幸
社会科	俵 大地
数学科	栗崎慎太郎
数学科	富森 宏一
理科	金丸 優紀
音楽科	葛城 郁也
保健体育科	堺 聰
保健体育科	岩川鉄平
技術科	岡本 健
家庭科	栗林 麻貴
英語科	岡部 康裕
育成	甲谷 宏行
事務職員	田代 照夫
新採指導	高井 敬祐
スクールカウンセラー	十河 博子
ソーシャルSC	大久保 遥

就学援助制度について
京都市ではお子さんが市立小・中学校に就学するにあたり、経済的な理由によりお困りの保護者に対し、学用品費や給食費などを援助する就学援助制度を設けています。なお、市立小学校卒業時に就学援助の認定を受けていた場合、新規の申し込みは不要です。継続の案内は別途お知らせします。

※新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変するなど、経済的な理由でお困りの場合は、収入状況の悪化がわかるものをご提出いただくことにより認定できる場合がある、臨時措置を設けていますので、ご相談ください。

また、育成学級に在籍しているお子さんのご家庭や、普通学級に在籍し、総合支援学校に通う程度の障害があるお子さんのご家庭に対し、学用品費などの一部を補助する総合育成支援教育奨励費制度も設けています。

申し込みの手続きやご相談、ご質問がある方は学校までご連絡ください。
(☎075-313-0972)

令和4年度

4月行事予定

京都市立七条中学校